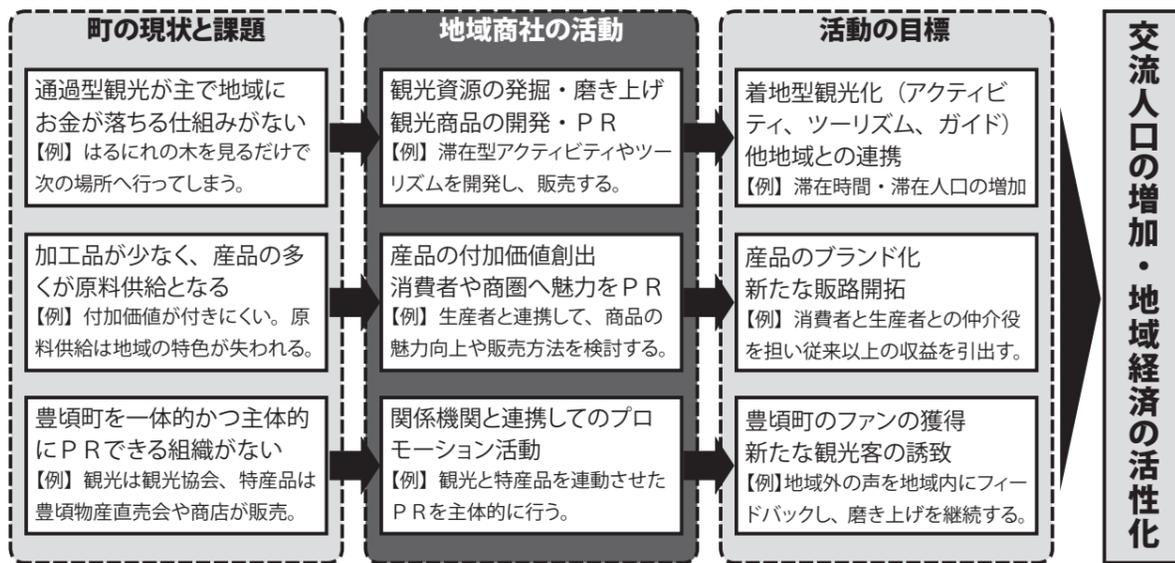


2 町の課題解決に向けた活動

地域商社では、町の課題を解決するための活動を通じて、お金を落とす仕組み（いわゆる「稼ぐ力」）をつくり、地域経済の活性化を目指します。

以下に、地域商社の活動を例示（現状と課題に基づいた活動のイメージ）します。



3 まちなか活性化拠点施設を活用した活動

地域商社の拠点となる「(仮称)豊頃町まちなか活性化拠点施設」を活用して、交流人口を増やす以下の事業を実施する予定です。

互産互生推進事業 P4(※2)を参照	静岡県掛川市や茨城県筑西市をはじめとする全国の連携都市とのモノ・ヒト・コトの交流拠点として活動を行います。
サテライトオフィス推進事業 施設内に設けられたレンタルオフィススペースと本社とをインターネットで繋げることで、仕事をしながら豊頃町での暮らしを体験することができる新しい働き方。	行政と連携し、首都圏企業などを中心とした誘致活動を行います。 【取組例】企業の福利厚生と田舎暮らしをタイアップさせた新しい働き方の提案、十勝の産品を取り扱う首都圏企業等のお試し拠点としての誘致など

4 地域商社設立に関するQ & A

Q1 なぜ地域商社を設立するのですか？

A1 国が推進する「地域経済の活性化」いわゆる「地方創生」の実現のためには、特産品等を販売するだけでなく、着地型観光の推進、移住定住の促進や新たな雇用の創出を連動させる取組みが必要となります。
その推進母体として、町が有する信用力と民間団体が有する生産力と販売力等を生かし、地域の課題に一体的かつ専門的に取り組むことができる地域商社を設立することで、より戦略的に「地方創生」の実現を図ることができると考え、設立することとしました。

Q2 どのように運営するのですか？

A2 地域商社の主な事業は公益的事業です。そのため、収益性が乏しいことから、当初は国の交付金や町の補助金を活用しつつ、事業を拡大し、将来の自立を目指すこととなります。設立当初の主な収益事業としては、町や関係団体、事業者からの受託業務、産品販売の手数料やツーリズムガイド料となります。

Q3 誰でも地域商社を利用できますか？

A3 地域商社の活動には、地域の皆さんとの連携が重要です。例えば、製品の付加価値向上や販路拡大に関する活動の場合については、町内の生産者や加工業者など、モノを作ったり売ったりしている方と連携することを想定しています。

特集

平成30年4月1日から、地域商社が活動を開始します

豊頃町では国が進める地方創生事業の一つとして、町の経済活動活性化の起爆剤かつ潤滑油として、町内外への『情報発信』、地場産品および観光資源の『ブランディング』と総合的な『プロモーション』を行うための地域商社(※1)を平成30年3月中旬に設立する予定です。

本特集では、「地域商社」の概要についてお知らせします。

※1 地域商社とは？

地域には、まだまだ知られていない産品や資源など、魅力ある商品やサービスが数多く眠っています。地域商社は、こうした地域の優れたモノを発掘・磨き上げ、その販路を新たに開拓することで、従来以上の収益を引き出し、そこで得られた知見や収益を生産者に還元する仕組みです。

市場ニーズを生産者に伝えて商品開発に生かす。様々なプレーヤーを巻き込んで新規事業を仕掛ける。観光資源も地域の魅力の一つだから、それを生かす。こうしたモノ・ヒト・コトなど地域のすべてを合わせて地域のブランド力を磨く。いわゆる地域をプロデュースすることが地域商社の仕事となります。

本町で設立される地域商社では、一つひとつの取組みを通じて、地域が抱える課題である「雇用創出」や「人口減少対策」などにも、将来、繋げていくことも想定しています。

1 豊頃町で設立される「地域商社」の概要

法人形態	一般社団法人 を予定	公益的事業を主な活動とし、地域経済を活性化させるための収益事業にも取組みます。
法人名	ココロコ とすることを予定	町民の心(ココロ)が通う場所。ロコはローカル(地域)「その地で生まれ育った人たち」を指す言葉。「とよころ」と語呂とリズムが似て親しみやすいことから名付けました。
所在地	豊頃町茂岩本町110番地	(仮称)豊頃町まちなか活性化拠点施設を拠点とし、中心市街地の活性化にも寄与します。
設立主体	町、農協・漁協・商工会および互産互生(※2)で連携する関係団体	地域経済の活性化を図るにあたっては、行政と関係機関が連携して取り組むことが最も重要であり、官民が一体となった体制を構築します。
設立登記	平成30年3月中旬 に登記予定	

※2 互産互生とは？

「互産互生」とは、地域同士が「お互いの地域にないもの」を相互に交換するなかで、経済活動や人的交流から新たな価値を創造していかうとする活動です。

例えば、本町とモデル的に実施している静岡県掛川市とは、静岡茶や次郎柿等を豊頃町で販売し、静岡では豊頃町の農水産加工品等を販売しています。人的交流では、雪で覆われる冬に北海道のサイクリストが静岡で、夏は静岡のサイクリストが涼しい北海道(十勝)で、サイクリングなどのツーリズムを楽しむような関係を構築しています。